

事務事業チェックシート

事務事業No 529 事業名 和歌川終末処理場等運転管理事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	下水道事業特別会計		
	款	下水道事業費		
	項	下水道管理費		
	目	下水道管理費		
	大事業	下水道管理事業		
事項	和歌川終末処理場運転管理事業			

[長期総合計画]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	3	住環境の整備
施策	4	生活排水対策の推進
基本方針	4	下水道事業・集落排水事業の適正管理

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標	IV	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る
政策	2	安心な暮らしの確保
施策	エ	

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	橋梁、上下水道、BCP策定			

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	永年 ~		
事業実施の根拠法令	下水道法、水質汚濁防止法		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	終末処理場管理課	山本 勇(444-2463)	
関連課	(和歌川終末処理場)		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	公共下水道区域内 (和歌川処理区) の家庭排水及び事業所排水を浄化し公共用水域の保全をめざす。	各ポンプ場より処理場に送水し、水処理等を行い適正な管理を行う。				
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	処理場における排出基準の遵守 和歌川終末処理場 芦原中継ポンプ場 和歌浦ポンプ場の運転管理事業を含む維持管理	処理場における排出基準の遵守 和歌川終末処理場 芦原中継ポンプ場 和歌浦ポンプ場の運転管理事業を含む維持管理	処理場における排出基準の遵守 和歌川終末処理場 芦原中継ポンプ場 和歌浦ポンプ場の運転管理事業を含む維持管理	処理場における排出基準の遵守 和歌川終末処理場 芦原中継ポンプ場 和歌浦ポンプ場の運転管理事業を含む維持管理	処理場における排出基準の遵守 和歌川終末処理場 芦原中継ポンプ場 和歌浦ポンプ場の運転管理事業を含む維持管理	

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	679,194	649,675	727,505	715,955	757,052	708,915	767,442		767,442	
伸び率 (%)	-	-	7.1%		4.1%		1.4%		0.0%	
人件費	常勤職員	28,069	28,621	28,621	28,352	28,352	24,095	24,105	24,105	
	非常勤職員	0	201	201	375	375	417	2,499	2,499	
	小計	28,069	28,822	28,822	29,128	29,128	24,512	26,604	26,604	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	679,194	649,675	727,505	715,955	757,052	708,915	767,442		767,442	
所要人数	常勤職員	3.78	3.77	3.77	3.81	3.81	3.17	3.17	3.17	
	非常勤職員	0.00	0.10	0.10	0.19	0.19	0.19	0.71	0.71	
主な予算内訳		管理委託料432,096千円、光熱水費198,614千円 等								

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	処理場及び各ポンプ場の適正な運転管理	年度目標値	1	1	1	1	1	1	1	
		実績値	1	1	1					
	単位	件	全体目標値	1	全体目標達成度	100.0%				
	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%						
成果指標	放流水の汚濁量 (化学的酸素要求量: COD) t/年 (注記、実績値は年度毎流入水量で変わるので記載できない。) 負荷量実績 値(t/年): 分析値(mg/L) × 放流量(m3) × 1/1000000	年度目標値	921	921	921	921	921			
		実績値	76	72	80					
	単位	t/年	全体目標値	921.0以下	全体目標達成度	100.0%				
	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%						
成果指標	放流水の汚濁量 (窒素) t/年 (注記、実績値は年度毎流入水量で変わるので記載できない。) 負荷量実績 値(t/年): 分析値(mg/L) × 放流量(m3) × 1/1000000	年度目標値	552.6	552.6	552.6	552.6	552.6			
		実績値	101.8	112.5	98.1					
	単位	t/年	全体目標値	552.6以下	全体目標達成度	100.0%				
	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	処理場施設の老朽化のため、長期的改築計画を進めている。
「見直し」 「改善」案	コスト経費の節減を目指し、運転方案を含めて創意工夫しさらなる節減に取り組む